

■移住・定住支援事業

●空き家情報バンク

空き家情報バンクは、市内の空き家を有効活用するため、「空き家を譲りたい人」と「家を取得したい人」をマッチングし、有効活用する制度です。市公式ホームページから最新の状況を確認できます。



地域おこし協力隊
丹菊 龍也 隊員

●移住体験ツアー

市では、若者や子育て世代が住みたくなるまちづくりを目指して、首都圏などからの移住を促進する取り組みを進めています。その一環として、移住を検討している人たちに登米市の魅力を体感してもらうため、農業や林業、住居、仕事などをテーマにした移住体験ツアーを開催しています。※今年度はオンライン開催

●住まいサポート補助金

登米市外の方が、市内に移住・定住するために住宅を新築、または購入（中古住宅を含む。）した人に補助金を交付しています。

●移住お試し住宅

市では、移住を検討している人に登米市での暮らしを体感してもらうため、短期間滞在できる「移住お試し住宅」を用意しています。滞在中、要望に応じて市の観光施設などを案内しています。



移住・定住支援事業について

【問い合わせ】まちづくり推進部観光シティプロモーション課(ふるさと定住係)
☎0220(23)7331



栽培したキノコを収穫する福井 貴也さん

昨年からは、登米市の地域おこし協力隊として移住定住情報の発信やお試し住宅、空き家情報バンクなどの移住支援を担当しています。私は、東京都の目黒区で生まれ、大学を卒業するまで東京で暮らしていました。大学生の時に、東日本大震災の支援ボランティアで宮城を訪れた際、地元の人々の温かさに触れ、支援しにいった私の方が、笑顔やエネルギーをもらえました。これがきっかけで宮城で暮らしたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。今は、移住を考えている人に向けて、オンラインなどで登米市を紹介しているのですが、必ず紹介する人々との距離感が程よく居心地が良いです。



オンラインで登米の魅力をPRする丹菊隊員

とは、「人と人との距離感がちょうどよい」ということです。移住を検討し相談に来る人たちは、「都会に住んでいて田舎暮らしにそこが気になる人」が多いのですが、田舎は近所付き合いが大変そうだというイメージを持たれる人がいます。しかし登米市は、すごく田舎というわけでもないで、近所の人たちと程よい距離感を保ちながら、自分の時間を楽しく過ごせます。そんな中でも、時間の流れがゆっくりで心にゆとりができるのも良い場所だと思っています。市外から来た私にしか伝えられない良さも多くの人たちに伝えていきたいです。

優しく受け入れてもらい人の温かさを感じています



東和町米川8区
福井 貴也 さん

北海道出身の私は、林業を勉強するために岩手の大学に進学しました。大学生の時に知り合った登米市出身の友人と一緒に、宮城の農産物を東京で代理販売する作業を手伝うようになり、その活動の中でここに訪れるようになったことが登米市との出会いでした。大学卒業後、東京で森林管理などの仕事をしておりましたが、自然に囲まれた環境で仕事をしたいと思い、大学の友人が農業を営んでいる登米市に移住することを決めました。今は、その友人が立ち上げた「木漏れ日農園」で、野菜やキノコ、鶏卵、ハチミツなどを栽培しています。住み始める前に、「移住お試し住宅」でここでの暮らしを体験できましたし、「空き家情報バンク」を通して住宅を探すサポートもしてもらえたので、移住への不安はほとんどありませんでした。移住し、農業を始めた後も、地域の皆さんが優しく声を掛けてくれて、人の温かさを感じています。米川地区は山に囲まれた地域なので、季節によって日々変わる景色も楽しんでいます。会社はまだ法人化したばかりですが、これからのため、まずは経営を安定させ、いずれは今まで学んできた知識を生かせる林業の仕事もしていきたいと考えています。

自宅にいなながら四季を楽しめる場所



東和町米川9区
大場 厚さんと家族

追町出身の私ですが、高校卒業後、主にシステムエンジニアとして会社に勤めながら約40年間仙台に住んでいました。

仙台は、家の近くで欲しい物が揃えられるので便利でしたが、いつかは田舎暮らしをしたいという夢がありました。日曜大工が趣味だったので、自分でリフォームできる物件を探していたときに、空き家情報バンクに登録されていた米川の空き家に出会いました。推定で築120年の古民家なのですが、太くて黒い立派な梁の雰囲気がとてもよく、また、山に囲まれ、近くに川が流れている



自らリフォームした自宅で談笑する大場さん夫妻

環境が、理想として思い描いていた風景にぴったりでした。購入後、1年以上掛けてリフォームし、今年の夏から住み始めました。もともとこの家に住んでいた人が近所に住んでおり、そのほかの地元の皆さんも優しく、耕作や地域のことなどを教えてくれるので助かっています。仙台に住んでいたときは、自然は「見に行くもの」という感覚でしたが、この地域なら、家にいながら紅葉をはじめとした四季の移り変わりが感じられます。敷地面積も広いので、庭の畑でハクサイやダイコンなどを作ったり、犬やニワトリを飼ったりと、理想としていた暮らしを送ることができています。

星がきれいに見えて夏は心地よい暑さの地域



中田町長崎
林 和則さんと家族

私たちは今まで東京で暮らしていたのですが、五年ほど前から妻の実家がある登米市への移住を検討していました。

そんなときに、有楽町で複数の自治体が集まって開催された移住イベントがあり、妻が参加しました。その後、私自身も何度か移住イベントへ参加し、実際に移住した人たちとオンラインで交流を重ねながら、登米市について学ばせてもらいました。家族で参加した「移住体験ツアー」では、農家さんのお宅でトマトの収穫やまき割をしたり、長沼でカヌーに乗ったりと、自然との触れ合いを



「移住体験ツアー」でまき割りを
する林さん家族

